

普及活動情勢報告

情勢報告（平成27年8月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

IPM研修会



8月7日、JA高知はた大正支所園芸部のスプレーギク、イチゴ、雨よけシシトウ農家を対象にIPM研修会を開催しました。

病害虫担当専門技術員を講師として招き、天敵を中心としたIPMの技術について研修を行いました。普及所からはアザミウマ類の野外での調査結果について報告し、適正な防除を呼びかけました。

参加者8名は熱心に耳を傾け天敵の活用等について理解を深めていました。

今後もIPMに関する新たな知見等を紹介していきながら、農家のIPMへの取り組みをバックアップしていきます。

JA高知はた大正・十和栗部会の総会



8月10日、栗部会の総会が開催されました。農家18名が参加し、ブランド化を進めている「四万十の栗」の特選、準特選の出荷基準や出荷量の増大方策について活発な意見が交わされました。

普及所からは、特選基準に位置付けられている低樹高剪定では、慣行と比べて結果枝の伸長が良く葉数を確保できていることやイガの落下率が低いこと等を報告しました。

今後も栗生産量の増大に向けて、関係機関と連携して、せん定技術の普及等の支援を進めていきます。

ニラの新規栽培者向け講習会



8月7日、ニラの新規栽培者や研修生を対象にした第1回講習会を開催し、3戸5名が参加しました。

今回は、JAから「ニラの栽培特性」、普及所から「生理・生態と電照・CO₂施用等の新技術」、「農家の経営」について話をし、参加者は熱心に聞いていました。

次回は、土づくり、病害虫・防除、生産履歴等の内容で講習会を行う予定です。また、毎月の巡回面談を行い、各農家の目標収量、所得の達成に向けて支援していきます。

集落営農等の研修会



7月27日、高南地域（四万十町窪川、中土佐町大野見）の集落営農組織、集落協定などの代表者36組織59人、農業関係機関10組織27人が参加して高南地域集落営農組織代表者連絡会を開催しました。

地域振興計画に基づき平成22年度に12集落協定を1つに統合し、地域で一体となった農地維持に取り組んでいる、島根県邑南町出羽地区より講師をお招きし、その取り組みを聴きました。

参加者からは、自治会との連携などについて質問が出ました。

今後も、地域の営農を維持・継続していくための手立てについて、研修・検討をしていきます。

地域営農の法人研修会



本年度から、管内の地域営農に取り組む7法人を対象に、経営管理能力の向上を目的とした研修会を、関係機関が連携して開催しています。

8月17日は、簿記記帳の基礎についての研修を行いました。

参加者には、複式簿記記帳が初めての方もおり、各参加者の進捗に合わせて個別に助言・支援を行い、喜ばれています。

今後も、総会開催準備や経営分析等についての研修会を開催する予定です。